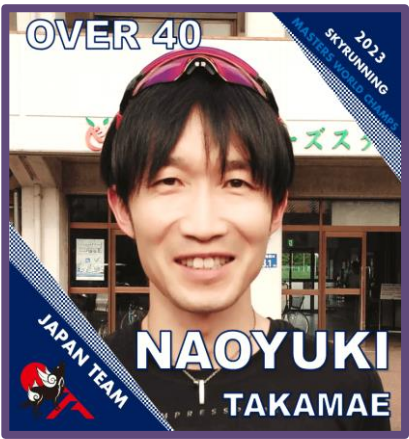


「にしかわ化石館」は夏休みも開館します

開館日 月・水・金(11:00~19:00)・祝日・休日は閉館 入場無料



写真提供：日本スカイランニング協会

第1回マスターズスカイランニング世界選手権

～距離55km・標高差4141mを完走～

7月30日、イタリア・ピエモンテ州で開催された、「第1回マスターズスカイランニング世界選手権」9名の日本代表の一員として、高前直幸さん(油木宗兼出身)が出場されました。高前さんは小学生の頃より片道数キロの道のりを歩いて登校したことで体力が付き、当時の校長先生に褒められて評価されたことがきっかけで、陸上競技を続けられました。社会人になってからも、数々の大会や記録会等に出場して力を蓄えられ、「初代日本代表9」に選ばれました。今大会前には5月のレース中に右足を負傷され手術を受けられましたが、ケガを乗り越え大会へ参加されたということことです。大会では55kmを完走され、国別ランニング団体日本第4位に貢献されました。最終的な結果は、協会より後日発表されるそうです。

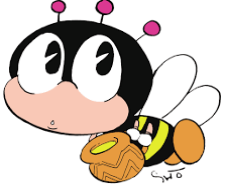


スカイランニング(英: Skyrunning)は、急峻な山岳や超高層ビルを駆け上がる(駆け下る)スピードを競うスポーツである。並びに、標高2000m以上の高所山岳、もしくは、急傾斜の山岳におけるランニング形式の快速登山を指す。(ウィキペディアフリー百科事典より)

ゆきの灯り

第79号
令和5年8月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生涯学習マスコット: マナビイ



燕去月



第2回 軽トラ掘り出し「朝」市開催!



7月21日(金)、「第2回軽トラ掘り出し朝市」を開催しました。梅雨も明け、朝から晴天に恵まれた今回は11店舗の出店があり、「とうもろこし」「茄子」「トマト」等の夏野菜や、「生花」「手作りパン」・「手芸品」等が並びました。強い日差しの中で皆さんは汗だくになりながら、「朝市」開催に向けて協力していただきました。ありがとうございました。

ゆき「軽トラ掘り出し朝市」は、11月まで開催予定です。

是非、「声」を活かしてください!!

6月28日(水)、油木コミュニティセンターを会場に「令和5年度神石高原町議会議会報告会・議会との対話集会」が開催されました。当日は、10名の町議会議員が全員出席され、「みんなの町議会74号」(町内配布済)を通じて、令和5年度予算や施策の報告・説明の後、議員の皆さんとの対話集会が行われました。対話の中では「百彩館」に係る話題が上り、「閉館までの経緯」や「今後の再利用計画」について意見が交流されました。油木地域では「花・野菜」を購入する場所もなく、春先には「3月の彼岸は、お墓の生花がいつもより少なかった。」との笑えないういじり(ジョーク)も耳に入ってきました。この「ゆきの灯り8月号」の発行時にはお盆は終わっていますが、各墓所の景色はどうなっているでしょうか。また、夏に帰省された方々へのおもてなしの材料やお土産はどうされたのでしょうか。



油木における課題(百彩館再利用計画の内容・買物が困難な状況への対応等)に限らず、神石高原町へ住む方々が町内で安心して生活していく上での、切実な願いが叶うような町政に期待します。町民の不安を少しでも払拭するには、「情報の提供」が必要だと思います。今回の「議会報告会・議員との対話集会」が今後にかける会となることを願います。「地域課題の解決に何か必要なのか」考えていきたいものです。



7月のゆきキッズ

7月の「ゆきキッズ」は3回開催され、子どもたちは暑さに負けず楽しく学習を行いました。

■昆虫教室(7月1日)

秋山美文先生の指導で、「昆虫教室」を開催しました。予定の野外活動は雨で中止になりましたが、双眼実体顕微鏡を使用して標本の虫の観察とスケッチを行いました。

■お茶教室(7月8日)

小田緑先生と神石高原町女性会油木支部の皆さんの指導で、「お茶教室」を開催しました。今回は「七塔」をテーマに盆手前の作法を学びました。

■化石教室(7月22日)

中西正一先生の指導で、「化石教室」を開催しました。にしかわ化石館にある資料から恐竜やマンモスがいた年代の説明を聞いた後、化石クリーニング体験で二枚貝や巻貝の化石を採りました。



令和5年度「ゆきふるさとまつり」

10/22(日)開催!

会場: 油木シルトピアグラウンド

「移住促進・空き家対策部会」 福山市広瀬学区訪問交流

7月9日(日)、「移住促進・空き家対策部会」が他市町の取り組みを視察して学ぶため、福山市加茂町北山(広瀬学区)を訪問しました。

広瀬学区は福山市の北にあり、標高約350mに位置する地域です。昭和50年の福山市・加茂町の合併頃より中学生の数が急速に減少し、学校存続の危機に直面しましたが、学区外からの児童生徒の受け入れを開始し、平成4年には小中学校・PTA・老人クラブ・民生委員・公民館等が中心となり「広瀬学区教育後援会」が設立されました。

行政からの直接支援が無く、独自の活動で運営費を賄いながら、「学校存続」を中心とした地域の課題解決に向けて活動をされています。

広瀬学区の取り組みが、油木地域の「地域活性化・課題解決」に向けて活かされる鍵となれば良いですね。



「輝く」何かを見つけよう!!

「第1回マスターズスカイランニング選手権」に出場された、高前直幸さんに続けと地元神石高原中学校在籍・出身の若者がこの夏輝きました。

■神石高原中学校 (ヤングJKB所属)

- 藤井彰真君 (3年)
- 清水飛真君 (2年)

第31回ヤングリーグ選手権大会優勝 (7月29～31日)

■神辺旭高等学校

- 古森翔大君 (1年)

4x400mリレー

令和5年度全国高等学校総合体育大会 陸上競技大会出場 (8月2～6日)

油木地域の子どもたちが、スポーツ面でも文化面でも「輝く」ことができるよう、学校・地域・家庭で盛り上げていけたら良いですね。それが「生涯学習社会」です。



アートクラブ①

7月7日(金)、若林佐都子先生の指導で「アートクラブ①」を開催しました。

今回は「夏野菜」をテーマに、各自が持ち寄った夏野菜を色鉛筆で黒画用紙に表現しました。

黒色画用紙に描く絵は独特な味わいがあり、白画用紙の作品にはない幻想的な作品に仕上げる事ができました。

今年度の「アートクラブ」は全4回の予定で開催します。

- 今後の予定 -
- 10月11日(水) パステル画
- 11月20日(月) 消しゴムはんこ
- 2月19日(月) 紙粘土
- ※第4回は、都合により開催日を変更します。



第1回 油木10人展

会期 令和5年
8月22日(火)～27日(日)
10:00～18:00(最終日15:00)
場所 シルトピアカレッジ図書館

最終日は13:00より「横山大剛」先生による、色紙揮毫(先着20名)を行います。



宮本忠治 大杉登三 藤岡賢雅 池田安次 平田榮次 横山剛大 日谷智泉 堀江美智恵 堀田直弘 河野弘樹 (敬称略)

がんばれカーブ!! 赤ヘル軍団 激闘の記憶展

期間 令和5年8月4日(金)～9月29日(金)
場所 油木協働支援センター分室「にしかわ」
開館日 月・水・金(11:00～19:00)
祝日・休日は閉館 入場無料



協力：広島東洋カーブ福山応援団名誉会長 山田 寿 秀 氏

「山田寿秀」広島東洋カーブ福山応援団名誉会長所蔵の「お宝」(カーブコレクション)が、いよいよ「にしかわ」へ登場します。

—社会生活のルールやマナーを— (参考：香川県教育委員会「今こそ家庭教育」)

家庭で社会化する子ども

○「社会化」という言葉を耳にしたことがありますか？
これは、子どもが、その社会の文化、特に価値と規範を身に付けることを指します。社会化の場として挙げられるのが、第1に家庭、第2に地域社会、第3に教育機関です。社会の文化と言われると、地域や学校が一番と思われそうですが、やはり一番は家庭です。親が日本や地域の文化の中で、「生きている」様を見せるだけで、子どもは自然と社会のルールを学んでいきます。

○子育ての型を日米で比較すると、米国は「教え込み型」、日本は「しみ込み型」のスタイルだと言われています。しみ込み型とは、「生活の中で学ぶ機会が埋め込まれている」スタイルです。「親の背中を見て育つ」という言葉がありますね。ガミガミと教え込むのも、黙々と親が見本を見せるのも一つの手です。特別に何かを教えるという意図をもたなくても、親の行動がしみ込んでいくのですから…。

個人主義…「他人に対するように自分を尊重し、自分に対するように他人を尊重する」
利己主義…「自己の利益を重視し、他者の利益を軽視、無視する」
⇒いわゆる「ジコチュー」というのは、「利己主義」のこと



★地域で子どもを見守り育てましょう (油木協働支援センター)

子育てチェック

- 家族みんなで守りたいルールを意識したことがある。
- 自分はルールやマナーにうるさいほうだと思う。

ワンポイント・アドバイス

- 1 親が守りたいルールは何々挙げてみましょう
- 2 親も子どもも尊重し合えるルール3か条を書きみましょう
- 3 子どもは大人の行動をよく真似ます